

平成 23 年 12 月 20 日

関 係 各 位

平成 23 年度九州ブロック大会校

(福岡県立大学 社会福祉学科)

実行委員長 細井 勇

**日本社会福祉士養成校協会 平成 23 年度九州ブロック研究大会について (ご案内)**

師走の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、別添の通り、日本社会福祉士養成校協会平成 23 年度九州ブロック研究大会を開催しますので、ご案内申し上げます。

つきましては、ご出席いただきますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

なお、お手数をおかけしますが、参加申込書に必要事項を記載の上ファックスにて本研究大会担当校（福岡県立大学 畑宛）までご送付ください。

# 2011(平成 23)年度 日本社会福祉士養成校協会 九州ブロック研究大会 開催要項

## ◆◇大会テーマ◇◆

### 「新カリキュラムの中で社会福祉士養成教育の課題を考える

### ーソーシャルワーカーとしての共通基盤を求めてー」

#### 【目的と趣旨】

日本社会福祉士養成校協会九州ブロックは、「社会福祉士養成校の教育内容の充実及び振興を図るとともに社会福祉に関する研修開発、知識の普及に努め、もって国民の福祉増進に寄与する」ことを目的として、年1回、九州ブロック研究大会を開催してきました。

今年度は、社会福祉士養成の新課程による相談援助実習等が本格実施される状況を踏まえ、新課程がソーシャルワーカーとしての共通基盤の確立を目指すものであることを再確認しつつ、社会福祉士養成教育の課題を改めて検討していきたいと存じます。

そのため、第1日目は、ジェネラリスト・ソーシャルワーク論を展開されている大阪市立大学の岩間伸之氏に基調講演をお願い致しました。またシンポジウムでは、実習教育に関するアンケートの調査結果を踏まえ、新課程での各養成校の取り組みについての情報交換を行います。

第二日目には、分科会を開催し、ここ10年の地域社会のニーズの変化を踏まえ、そこから養成校に求められる人材養成教育の課題、また実習指導の具体的展開過程と課題について実習事例を通じて検証していく予定です。

- 日時  
2012(平成24)年2月20日(月) 13:00~18:00(大会第1日目)  
18:20~20:20(情報交換会)  
2月21日(火) 9:00~12:15(大会第2日目)
- 会場  
研究大会 都久志会館(福岡市中央区天神4-8-10 TEL 092-741-3335)  
情報交換会 福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15 TEL 092-713-1112)
- 主催等  
主催 社団法人 日本社会福祉士養成校協会九州ブロック  
共催 社団法人 日本社会福祉教育学校連盟九州ブロック
- 参加対象  
日本社会福祉士養成校協会加盟校及び賛助会員  
日本社会福祉教育学校連盟加盟校及び賛助会員  
相談援助実習受け入れ施設・機関等の職員  
学生
- 担当校  
福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科
- 参加費  
大会参加費 2,000円(実習施設・機関関係者及び学生は無料)  
情報交換会 5,000円
- 参加申込み  
「参加申込書」に必要事項をご記入の上、平成24年1月31日(火)までに大会担当校までFAXにて申し込み下さい。

## ◆◇プログラム◇◆

### 第1日目 2月20日(月)

- 12:30～13:00 受付
- 13:00～13:15 挨拶 開催校代表：福岡県立大学人間社会学部教員理事 鬼崎信好  
社養協九州ブロック運営委員長：長崎純心大学 飛永高秀 氏
- 13:15～13:20 オリエンテーション(事務局)
- 13:20～14:35 基調講演  
テーマ：「新カリキュラムの中で社会福祉士養成教育の課題を考える  
ーソーシャルワーカーとしての共通基盤を求めてー」  
講師：大阪市立大学大学院生活科学研究科 岩間伸之 氏
- 14:35～14:50 休憩
- 14:50～16:45 シンポジウム  
テーマ：「新カリキュラムの中で社会福祉士養成教育の課題を考える  
ー相談援助実習と相談援助演習との有機的展開をめぐってー」  
司会：高橋信行 氏(鹿児島国際大学)  
「相談援助実習等に関するアンケート」結果報告：  
村山浩一郎 (福岡県立大学)  
シンポジスト：山本睦美 氏(瀨上医療福祉専門学校)  
片岡靖子 氏(久留米大学)  
山崎安則 氏(筑紫女学園大学)  
岡部由紀夫 氏(西九州大学)
- 16:45～17:00 休憩
- 17:00～18:00 総会
- 18:20～20:20 情報交換会(福岡ガーデンパレス)

## 第2日目 2月21日(火)

9:00～11:00 分科会

### 第1分科会

テーマ：「潜在するニーズを関連資源へ媒介できるソーシャルワーカーをどう養成するか」

司会： 細井 勇 (福岡県立大学)  
コメンテーター： 平塚良子 氏 (大分大学)  
パネラー： 藤林武史 氏 (福岡市こども総合相談センター)  
馬男木幸子 氏 (福岡市社会福祉協議会)  
今村浩司 氏 (小倉蒲生病院)  
大坪巧弥 氏 (八幡西障害者地域活動センター)

### 第2分科会

テーマ：「実習指導者による実習生への指導（スーパービジョン）の展開と課題」

司会： 本郷秀和 (福岡県立大学)  
コメンテーター： 山崎きよ子 氏 (九州保健福祉大学)  
【実習例1】地域包括支援センターでの実習  
山口千恵 氏 (福岡県介護保険広域連合鞍手支部 地域包括支援センター)  
井田美里 (福岡県立大学学生)  
【実習例2】児童養護施設での実習  
前田みゆき 氏 (別府平和園)  
藤澤幸恵 (福岡県立大学学生)  
【実習例3】障害福祉サービス多機能型事業所での実習  
富永英伸 氏 (春ヶ丘学園)  
福永麻理 (福岡県立大学学生)

### 第3分科会

テーマ：「加盟校独自の社会福祉教育の取り組みからソーシャルワーク共通基盤を考える」

発題： 黒木邦弘 氏 (熊本学園大学)

11:15～12:00 全体報告会

12:00～12:15 次回開催校挨拶、閉会挨拶

## ◆◇基調講演、シンポジウム、分科会の主旨について◇◆

### 1. 基調講演

社会福祉士及び介護福祉士法の改正の大きなポイントは、「新たな教育カリキュラムの全体像」の科目群の一つである「総合的かつ包括的な相談援助」にあります。新カリキュラムにおける社会福祉士養成の課題を明確にするために、総合相談を実践概念とし、ジェネラリスト・ソーシャルワークを基礎理論とする「地域を基盤としたソーシャルワーク」の特質と機能について明らかにしたいと思えます。

#### 《講師プロフィール》

岩間伸之（いわま・のぶゆき）氏

同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程後期修了。社会福祉学博士。

現在、大阪市立大学大学院生活科学研究科教授。

専門は、ソーシャルワーク論。近年は、権利擁護の実践と研究にも携わる。

特定非営利活動法人西成後見の会代表理事。

主な著書：『対人援助のための相談面接技術』（中央法規出版、2008年）、  
『支援困難事例へのアプローチ』（メディカルレビュー社、2008年）、  
『援助を深める事例研究の方法（第2版）』（ミネルヴァ書房、2005年）、  
ルイーズC. ジョンソン・ステファンJ. ヤンカ、山辺朗子、岩間伸之訳  
『ジェネラリスト・ソーシャルワーク』（ミネルヴァ書房、2004年）、  
『ソーシャルワークにおける媒介実践論研究』（中央法規出版、2000年）、等。

### 2. シンポジウム

シンポジウムテーマ：「新カリキュラムの中で社会福祉士養成教育の課題を考える  
－相談援助実習と相談援助演習との有機的展開をめぐる－」

社会福祉士養成の新課程での実習が本格化する中で、「相談援助実習等に関するアンケート」を実施します。この結果を踏まえつつ、4つの養成校から、実習施設と養成校との協議体制、巡回指導体制、実習内容、実習を踏まえての演習等について、新課程は旧課程とどのように変化したか、また改革してきたかをご報告いただき、情報交換の場としたいと思います。

本シンポジウムの意図は、基調講演の意図と重なるものであり、新課程がソーシャルワーカーとしての共通基盤の確立を目指すものであることを再確認しつつ、社会福祉士養成教育の課題を改めて検討していくことにあります。

### 3. 分科会

#### 第1分科会：「潜在するニーズを関連資源へ媒介できるソーシャルワーカーをどう養成するか」

社会福祉士養成課程の改正の背景には、近年の地域社会のニーズの変化があると思います。ここ10年のニーズの変化については、第一線の関係機関、施設等が実感されているところかと存じます。ニーズがより深刻な場合こそ、孤立しがちで潜在化しがちとなり、ニーズが深刻なほど何がニーズなのか当事者にも分からなくなる、そういった実態があると思います。潜在するニーズを如何に発見し、社会資源に結びつけていくか、そのために如何により包括的なアセスメントを当事者と共有していくかが関係相談機関に求められていると思います。

今回は、各相談機関の方から、コミュニティ・ソーシャルワークの課題、児童虐待や青年期の引きこもりへの対応、精神障害や発達障害者への生活支援や就労支援の取組み、更生保護や成年後見の分野での取組み等をご紹介いただき、養成校に期待される今日的課題を検討していきたいと存じます。

#### 第2分科会：「実習指導者による実習生への指導（スーパービジョン）の展開と課題」

社会福祉士養成課程の新課程の実施によって、相談援助実習は同一施設・機関で計4週間の実習が通常になってきています。日本社会福祉士養成校協会としても、4週間実習の3段階モデルを掲示しているところです。おおむね1週目は職域実習、2週目は職種実習、3～4週目はソーシャルワーク実習です。ただ、実際には、フィールド・ワークを中心とする地域相談機関と入所型の施設では実習計画や内容も大きく異なり、実習指導の展開も異なってくるかと思えます。

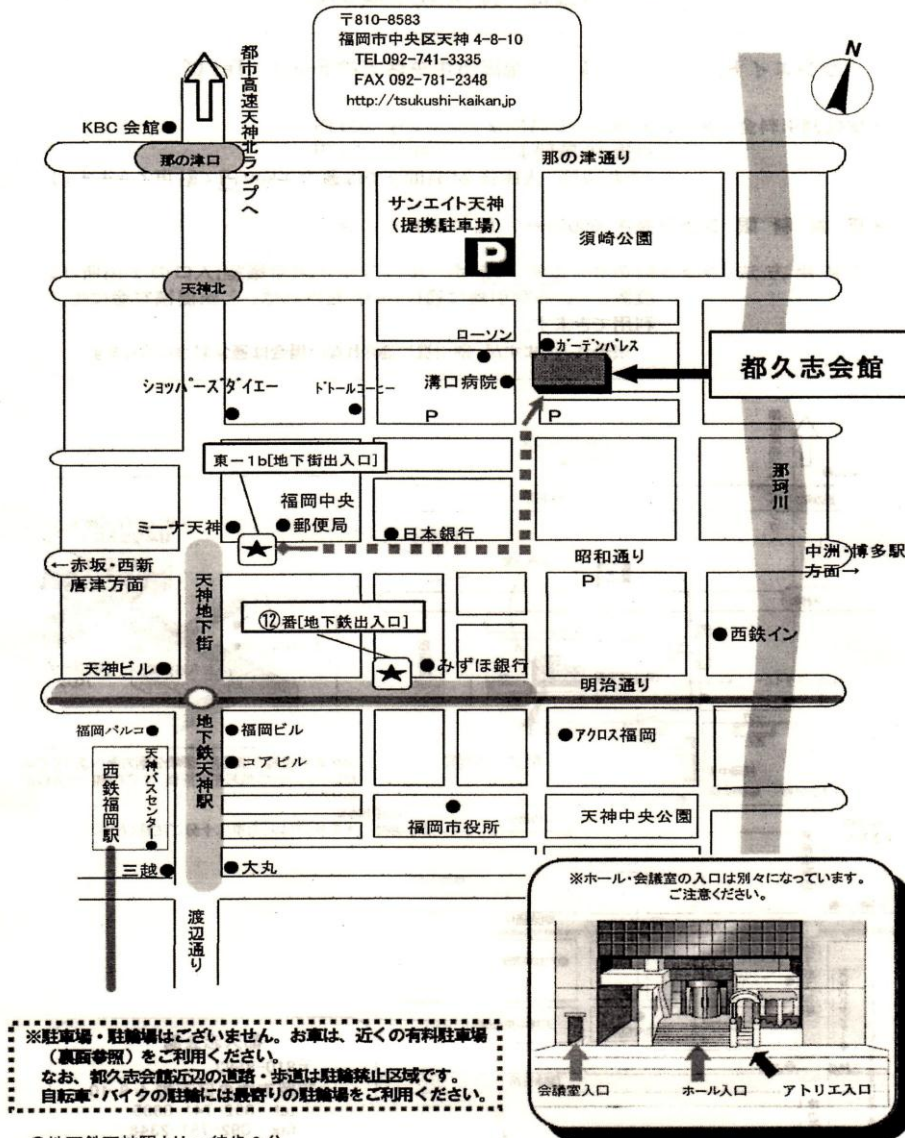
そこで、今回は、地域包括支援センター、児童養護施設、障害福祉サービス多機能型事業所での実習における実習指導例を検討していくことで、実習と実習指導の展開過程、及びその課題を検討していきたいと思えます。こうした背景には、実習教育を通じて、如何にソーシャルワークの共有基盤を形成していくかという問題意識があります。

#### 第3分科会：「加盟校独自の社会福祉教育の取組みからソーシャルワーク共通基盤を考える」

本分科会、日本社会福祉教育学校連盟九州ブロックによる企画として実施するものです。加盟校独自の社会福祉教育の取組みについてアンケートに基づき報告し、関係の大学等から科目設置の目的等について補足いただく予定でいます。

◆◇会場案内◇◆

都久志会館 交通のご案内



- 地下鉄天神駅より…徒歩 8 分
- 西鉄福岡駅・天神バスセンターより…徒歩 10 分(天神地下街を利用されると便利です)
- JR 博多駅より…地下鉄乗車 6 分、天神駅下車徒歩 8 分(天神地下街を利用されると便利です)
- 福岡空港より…地下鉄乗車 11 分、天神駅下車徒歩 8 分(天神地下街を利用されると便利です)
- お車…都市高速天神北ランプより 5 分

◎ その他、ご質問等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

平成 23 年度 日本社会福祉士養成校協会 九州ブロック大会事務局

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科

福岡県田川市伊田 4395 番地

TEL : 0947-42-2118 (代表)

FAX : 0947-42-6171 (代表)

実行委員長 細井 勇

hosoi@fukuoka-pu.ac.jp

事務局 松岡佐智

matsuoka@fukuoka-pu.ac.jp

畑 香理

k-hata@fukuoka-pu.ac.jp

# F A X 送 信 票

年 月 日

宛 先 : 福岡県立大学 畑 行

FAX : 0947-42-6171

※ 平成24年1月31日(火) 17時までにご返信をお願いします。

## 平成23年度 社養協九州ブロック研究大会 参加申込書

氏名	該当する部分を○で囲んでください。				
	所属名、教員・機関施設職員・学生別	参加日	第1希望	第2希望	懇親会
	所属名	2/20・2/21	第1分科会	第1分科会	出席・欠席
	大学教員・機関施設職員・学生		第2分科会	第2分科会	
	所属名	2/20・2/21	第3分科会	第3分科会	
	大学教員・機関施設職員・学生		第1分科会	第1分科会	
	所属名	2/20・2/21	第2分科会	第2分科会	出席・欠席
	大学教員・機関施設職員・学生		第3分科会	第3分科会	
	所属名	2/20・2/21	第1分科会	第1分科会	出席・欠席
	大学教員・機関施設職員・学生		第2分科会	第2分科会	
	所属名	2/20・2/21	第3分科会	第3分科会	
	大学教員・機関施設職員・学生		第1分科会	第1分科会	
	所属名	2/20・2/21	第2分科会	第2分科会	出席・欠席
	大学教員・機関施設職員・学生		第3分科会	第3分科会	
	所属名	2/20・2/21	第1分科会	第1分科会	出席・欠席
	大学教員・機関施設職員・学生		第2分科会	第2分科会	
	所属名	2/20・2/21	第3分科会	第3分科会	
	大学教員・機関施設職員・学生		第1分科会	第1分科会	

所属名 (学校名・施設名等)	
送信者 氏名	
連絡先 電話	